

令和7年3月6日

足立区立第十二中学校
校長 千葉 千登勢 様

足立区立第十二中学校 開かれた学校づくり協議会

令和6年度 学校関係者評価書

1 自己評価書（学校経営計画・自己評価書）全般について

令和6年度の重点目標で、「1 学力向上アクションプラン」の「確かな基礎学力の定着」について、テストの結果が目標に達しなかったのは残念である。また、「授業が楽しい」「集中し授業の内容がわかる」と感じている生徒が多くいる一方で、「授業の振り返り、家庭学習の時間、計画的な学習」の項目では数値が低い結果が出ている。どのように学習の定着を図るのが課題である。

「2 キャリア教育の推進」の「なりたい自分を見つける」において、93%の生徒が「将来の夢がある」と回答していることは良い点である。生徒が将来に確かな希望を持ち、学校生活を送れるよう必要な取り組みを継続していただきたい。

「3 不登校・不適応対応」では、不登校出現率8%は大変残念である。原因をしっかりと分析したうえで、適切な対応を図り、早期の減少につなげていただきたい。また、学級満足度の引き上げにも尽力願いたい。

「4 生活指導の充実」について、生徒が安心して学校生活を送れるよう、引き続き教員が確固たる信念をもって取り組んでいただきたい。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

各種調査やテストの結果から、基礎学力の定着が最大の課題である。反復学習の徹底やA Iドリルを含めたI C Tの効果的な活用などにより、学力向上につなげていただきたい。

また、今年度は様々な機会やツールを利用して学校や生徒の様子が発信された点は、昨年度から改善が図られた点として評価したい。しかし、保護者や地域には十分に伝わっていないアンケート結果となっている。家庭や学校、地域が一丸となって生徒の成長を支えるためには、さらなる保護者や地域に対する力強いメッセージの発信と情報や認識を共有する機会の拡大に努めていただきたい。

3 その他

来年度からSSRで徐々に増えてきた不登校の生徒が、開設により1人もいなくなるよう、学校の楽しさ、友達との関係を築いていけるように、学校全体でがんばっていただきたい。

また、部活動の増設「男子テニス部」「体力づくり部」ができるとのことですが、たくさんの生徒が部活動に入り、部活動の楽しさや友達との信頼関係等が築けていければ、学校に行くのが楽しくなるのではと思います。